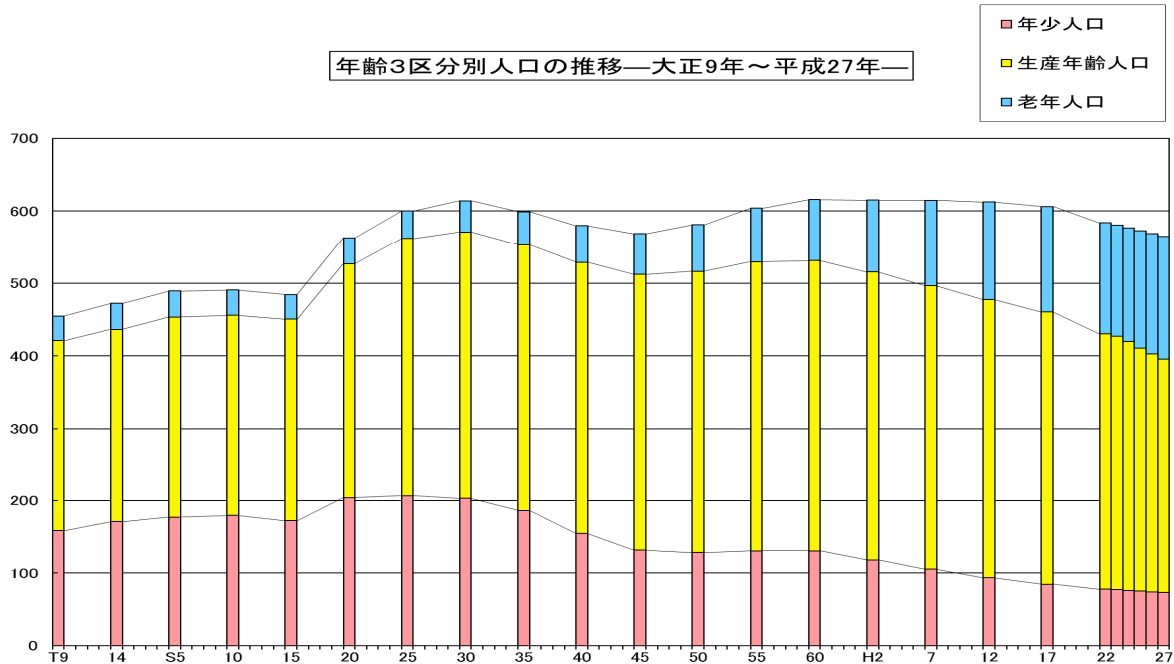
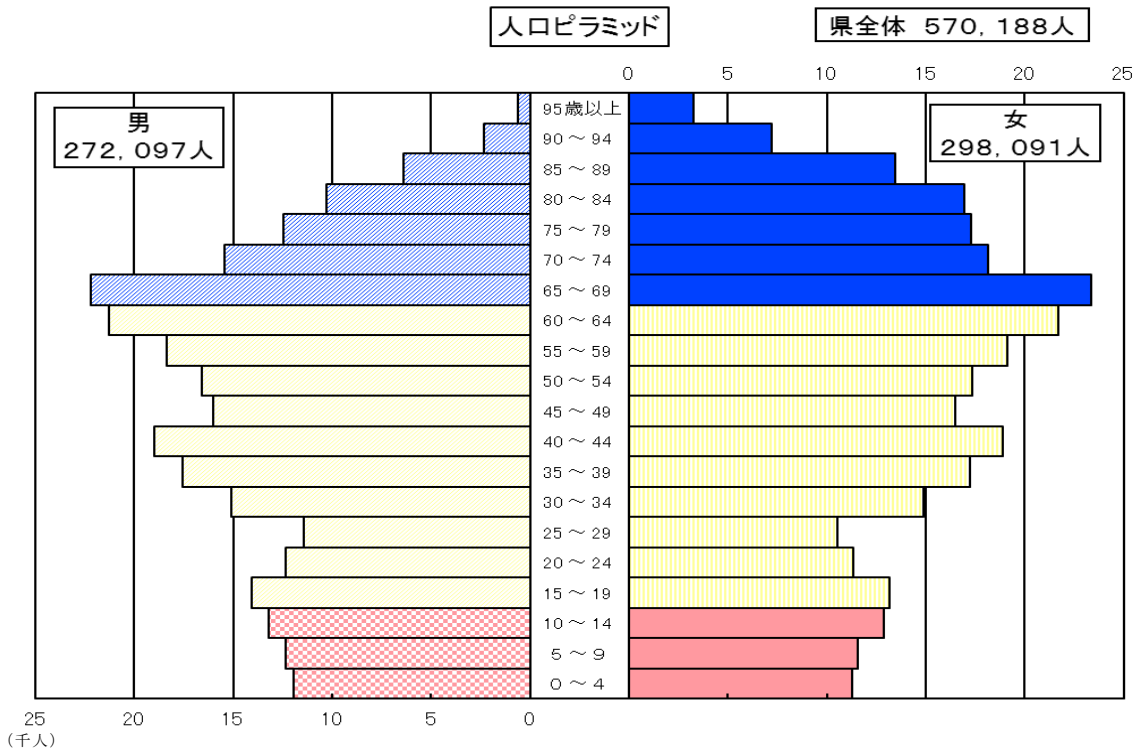


1 鳥取県の人口構成

老年人口割合は30.0%となり過去最高、年少人口割合は13.0%で昨年と同水準

鳥取県の人口について、年齢3区分別にみると、年少人口は73,224人で前年と比べ959人減少、生産年齢人口は322,521人で6,230人減少、老年人口は169,439人で3,355人増加している。

人口構成割合は、年少人口が13.0%で前年と比べ増減なし、生産年齢人口が57.1%で0.7ポイント低下、老年人口が30.0%で0.8ポイント上昇している。



注) 大正9年から平成22年までは国勢調査値、平成23年以降は平成22年国勢調査を基準として推計したものである。

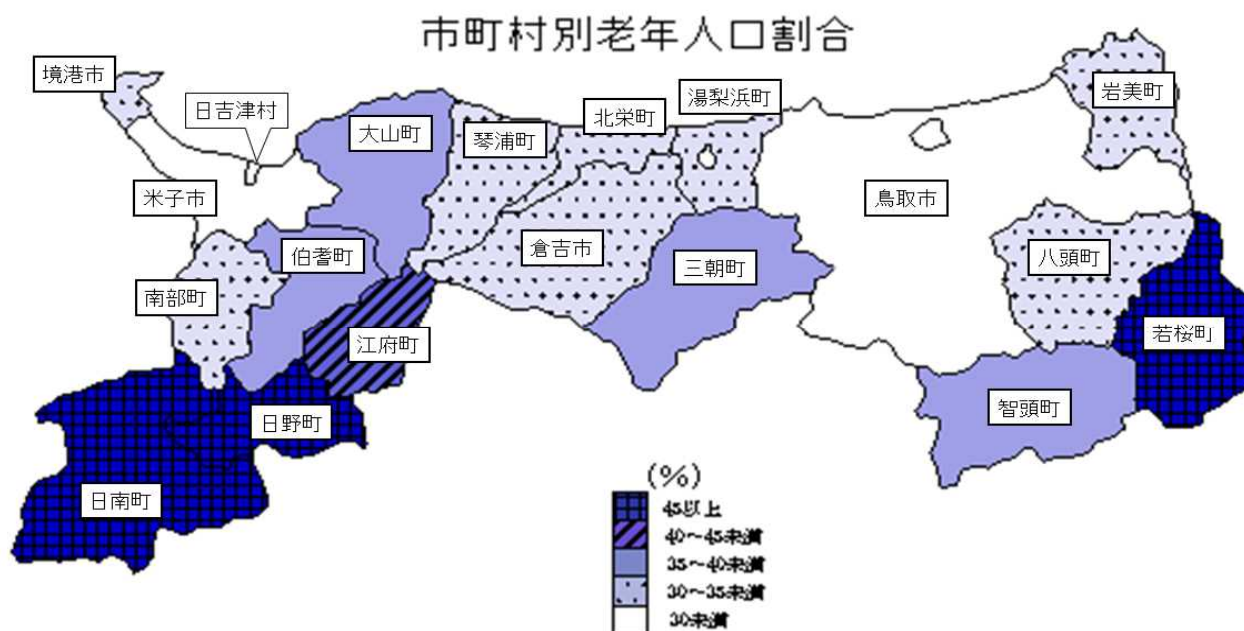
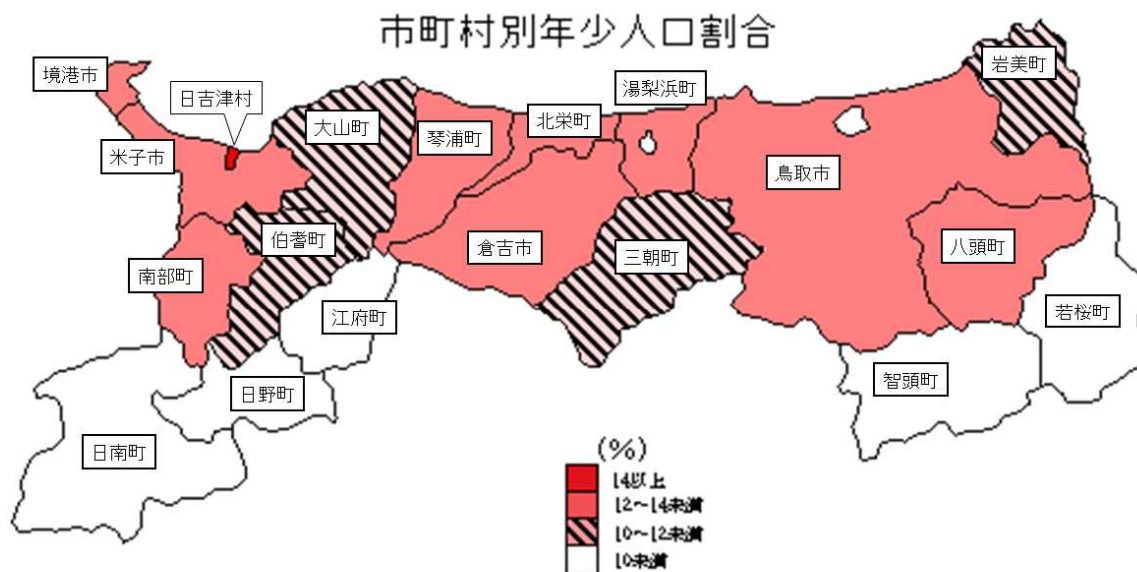
2 市町村の人口構成

全市町村で老年人口割合が上昇、生産年齢人口割合は低下

市町村の人口構成割合について、年齢3区分別にみると、年少人口割合は日吉津村が15.0%と最も高く、次いで湯梨浜町が13.9%、米子市が13.8%、鳥取市が13.5%などとなっている。前年と比べると、若桜町、智頭町、北栄町、日吉津村、伯耆町及び江府町が上昇、鳥取市、岩美町、湯梨浜町及び大山町が同水準、その他の9市町が低下している。

老年人口割合は日南町が49.6%と最も高く、次いで日野町が47.0%、若桜町が45.0%、江府町が44.6%などとなっている。前年と比べると、全市町村で上昇した。

一方、生産年齢人口割合は、全市町村で低下した。

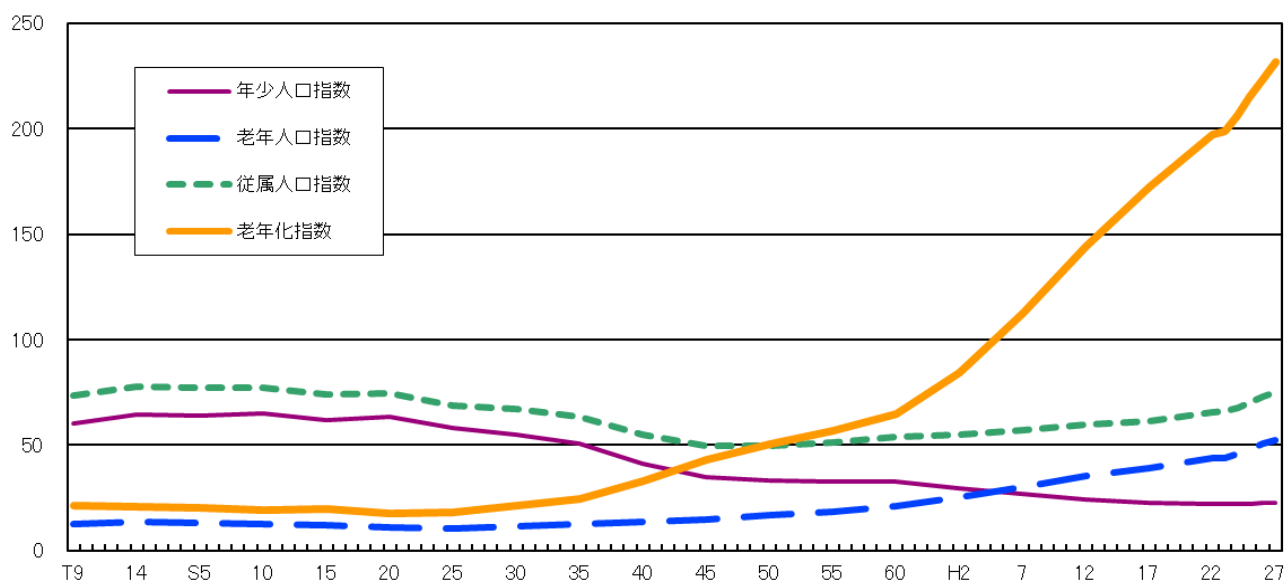


3 年齢構成指数

老年化指数は231.4ポイントとなり、過去最高

鳥取県の人口について、年齢構成指数別にみると、年少人口指数は22.7で前年と比べ0.1ポイント上昇、老年人口指数は52.5で2.0ポイント上昇、従属人口指数は75.2で2.1ポイント上昇、老年化指数は231.4で7.5ポイント上昇している。

年齢構成指数の推移—大正9年～平成27年



注)大正9年から平成22年までは国勢調査値、平成23年以降は平成22年国勢調査を基準として推計したものである。